

# 静岡県の 新型コロナウイルス感染症者 発生・入院等の状況 (2022年6月17日時点)



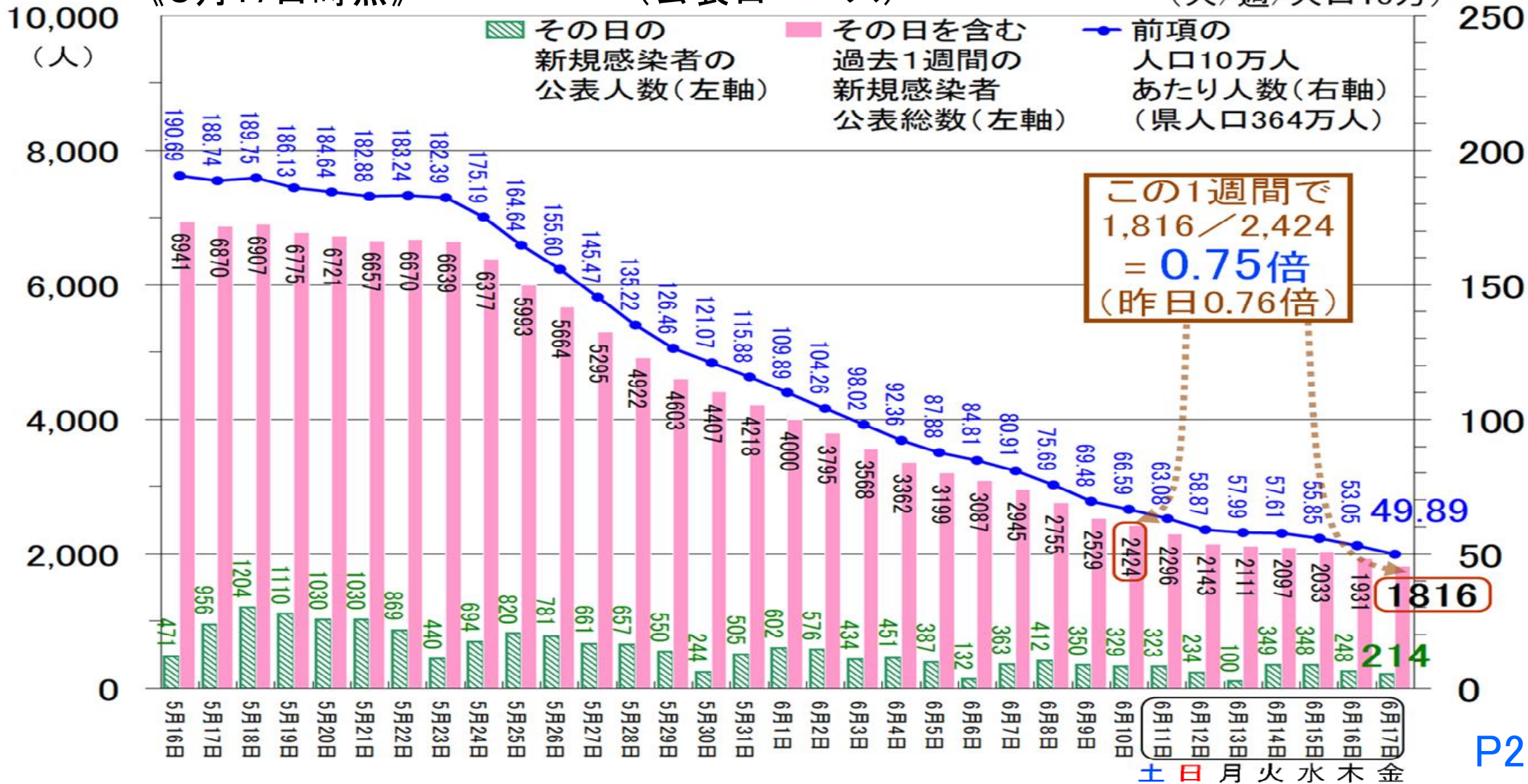
静岡県健康福祉部 新型コロナ対策 企画課 & 推進課

# 静岡県の直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況

《6月17日時点》

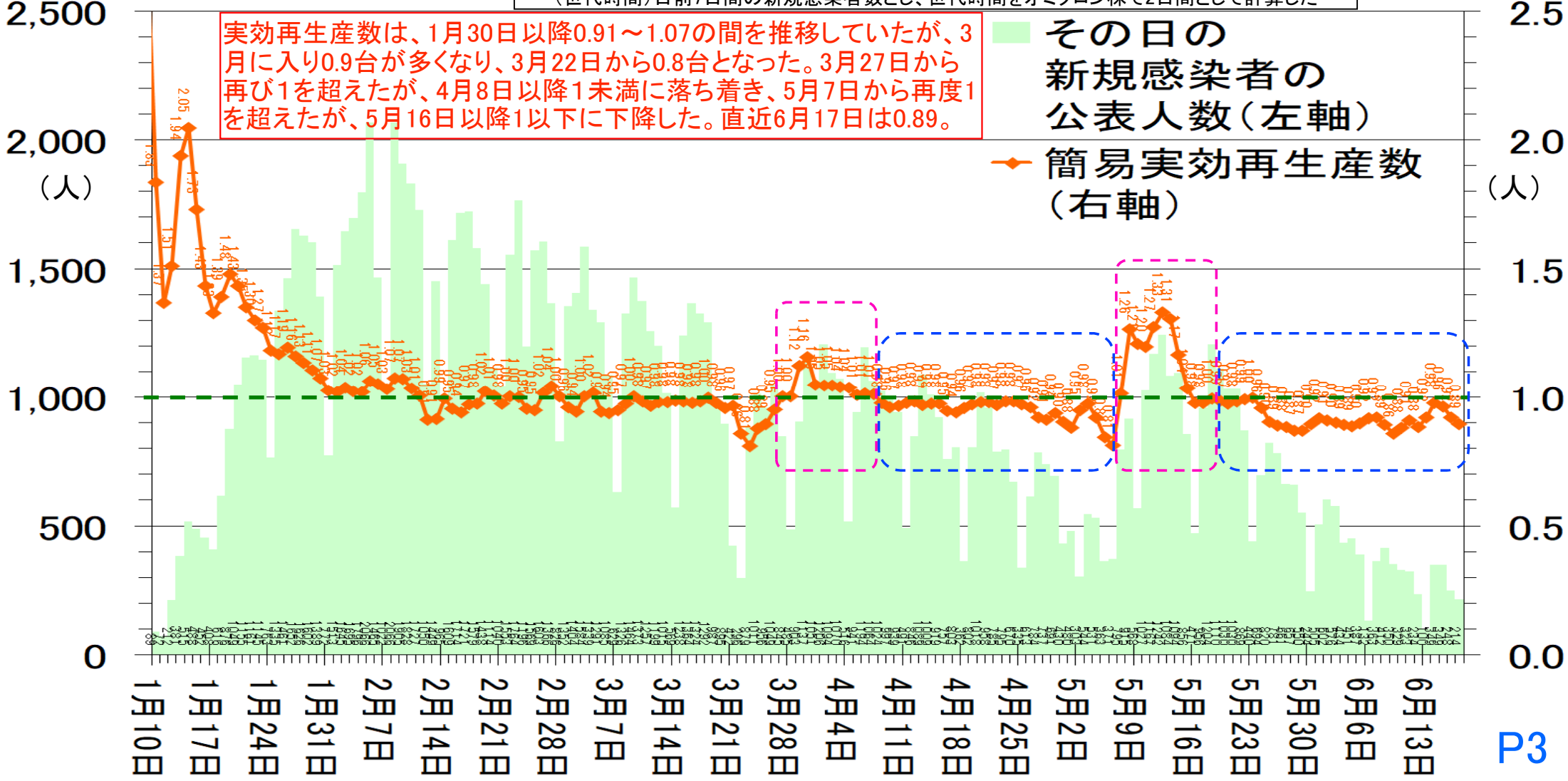
(公表日ベース)

(人/週/人口10万)

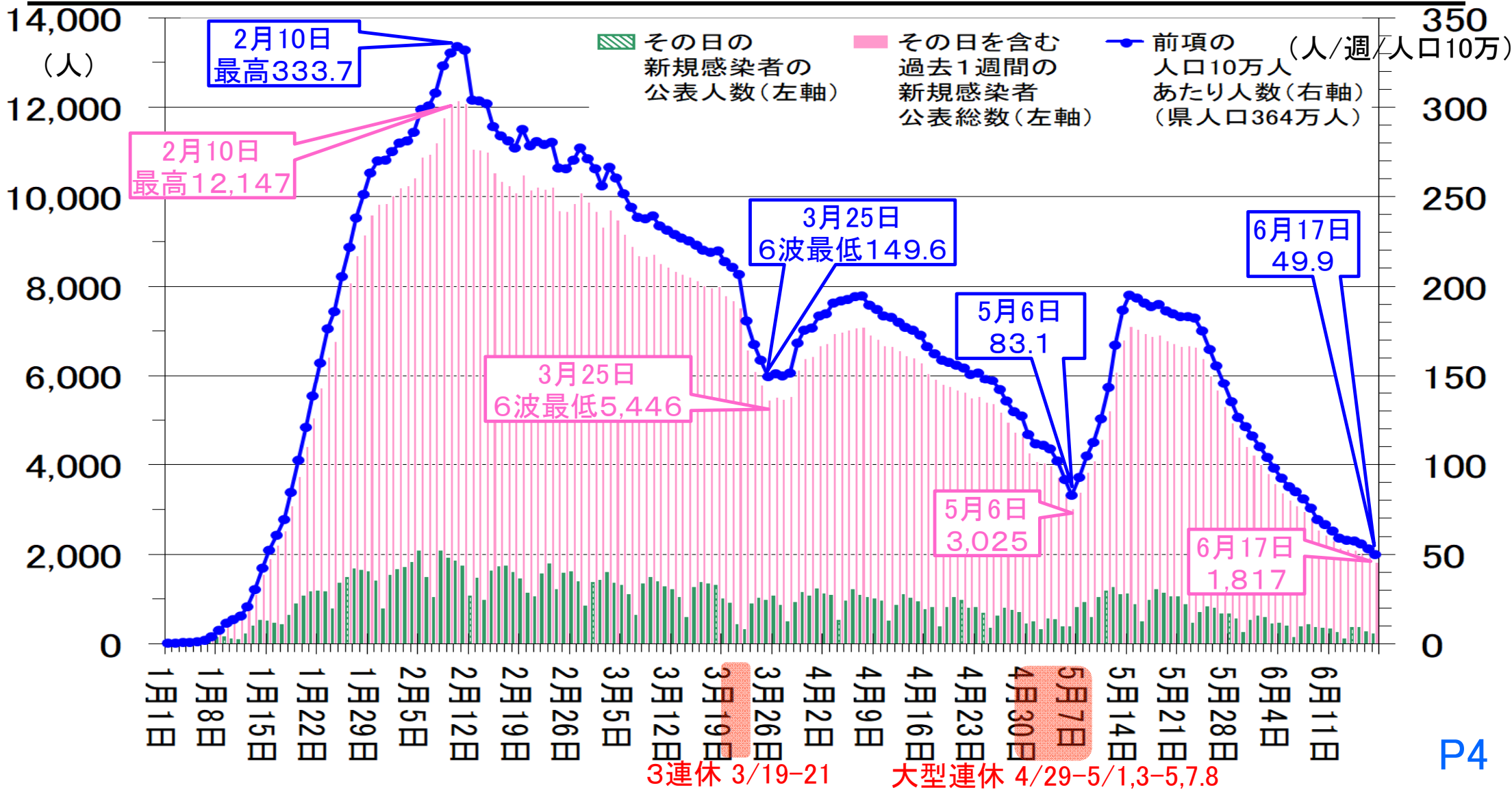


# 静岡県の新型コロナ新規感染者数と簡易実効再生産数(1/10~6/17)

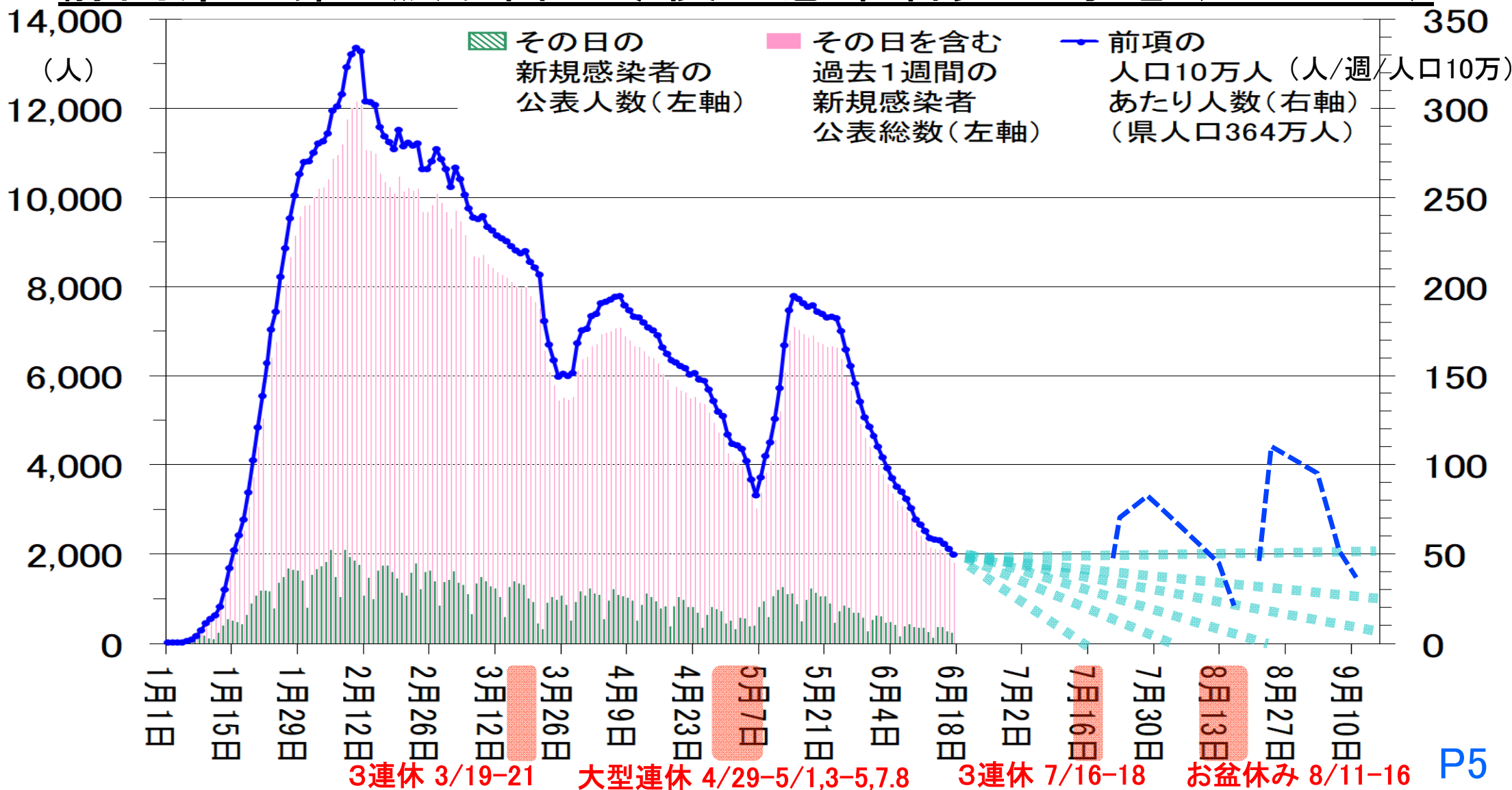
国立感染症研究所の報告に基づき、簡易実効再生産数を直近7日間の新規感染者数/  
(世代時間)日前7日間の新規感染者数とし、世代時間をオミクロン株で2日間として計算した



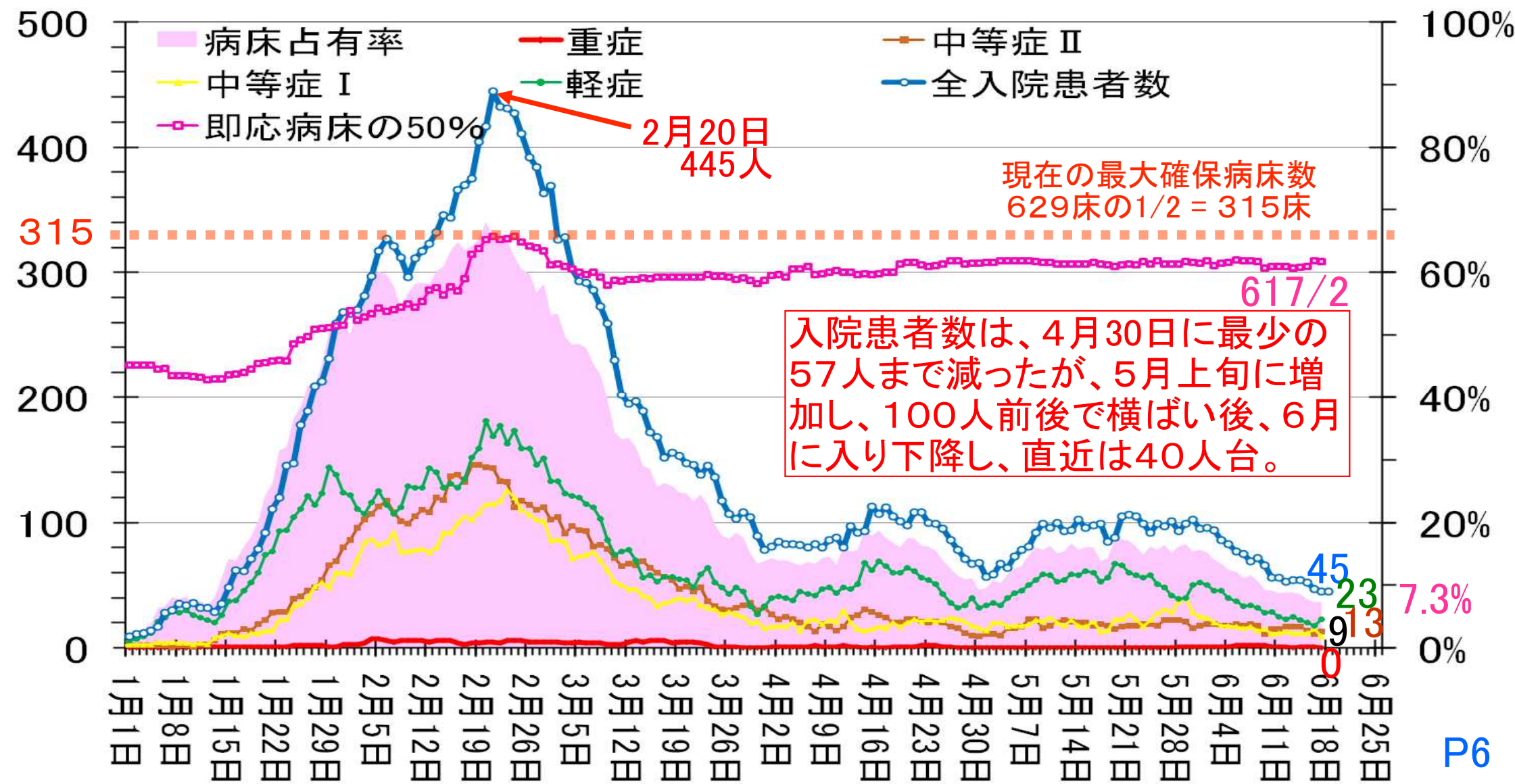
# 静岡県の第6波以降 これまでの全体像(1/1~6/17)



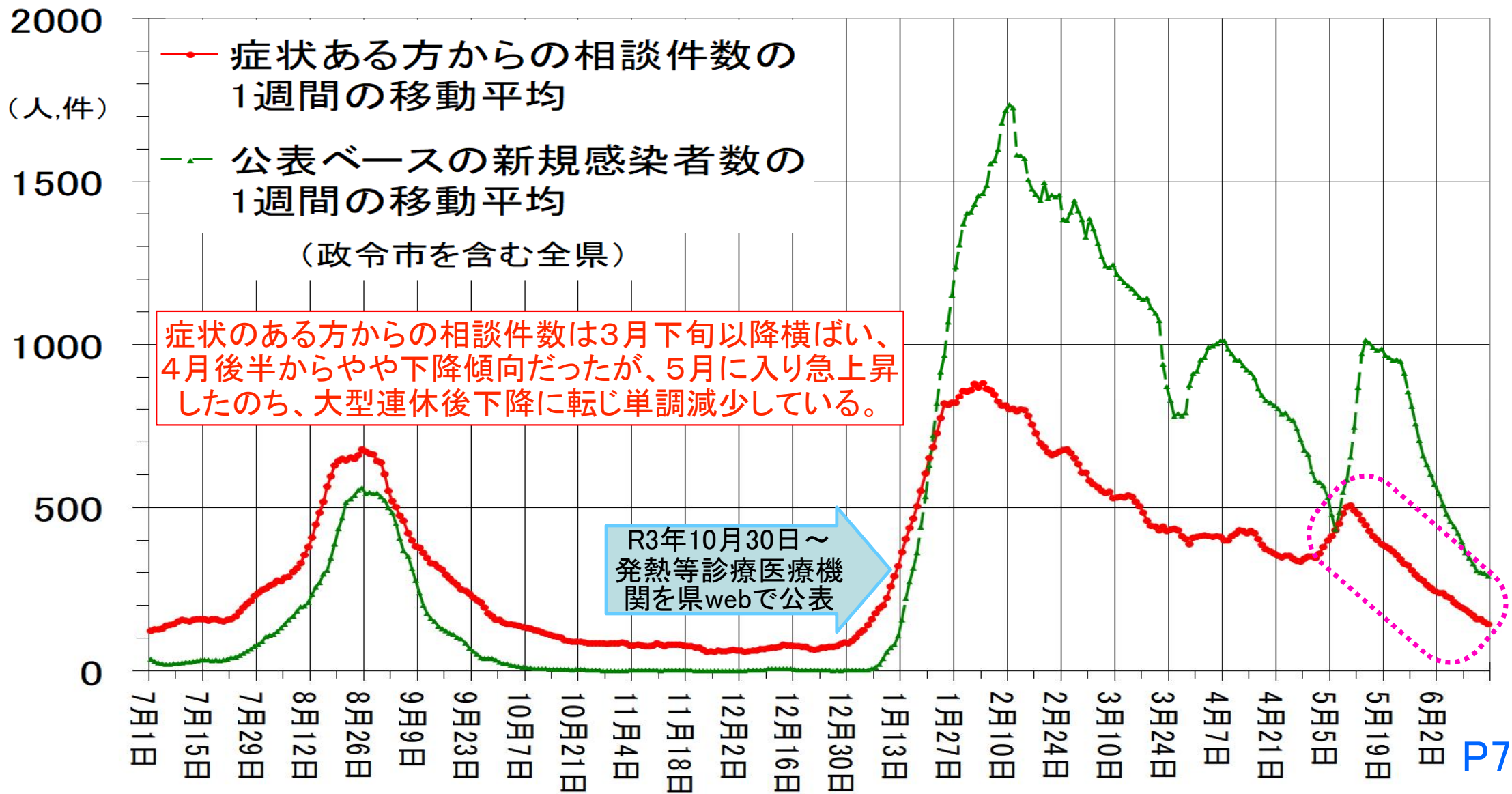
# 静岡県第6波以降と今後の感染者発生予想(イメージ)



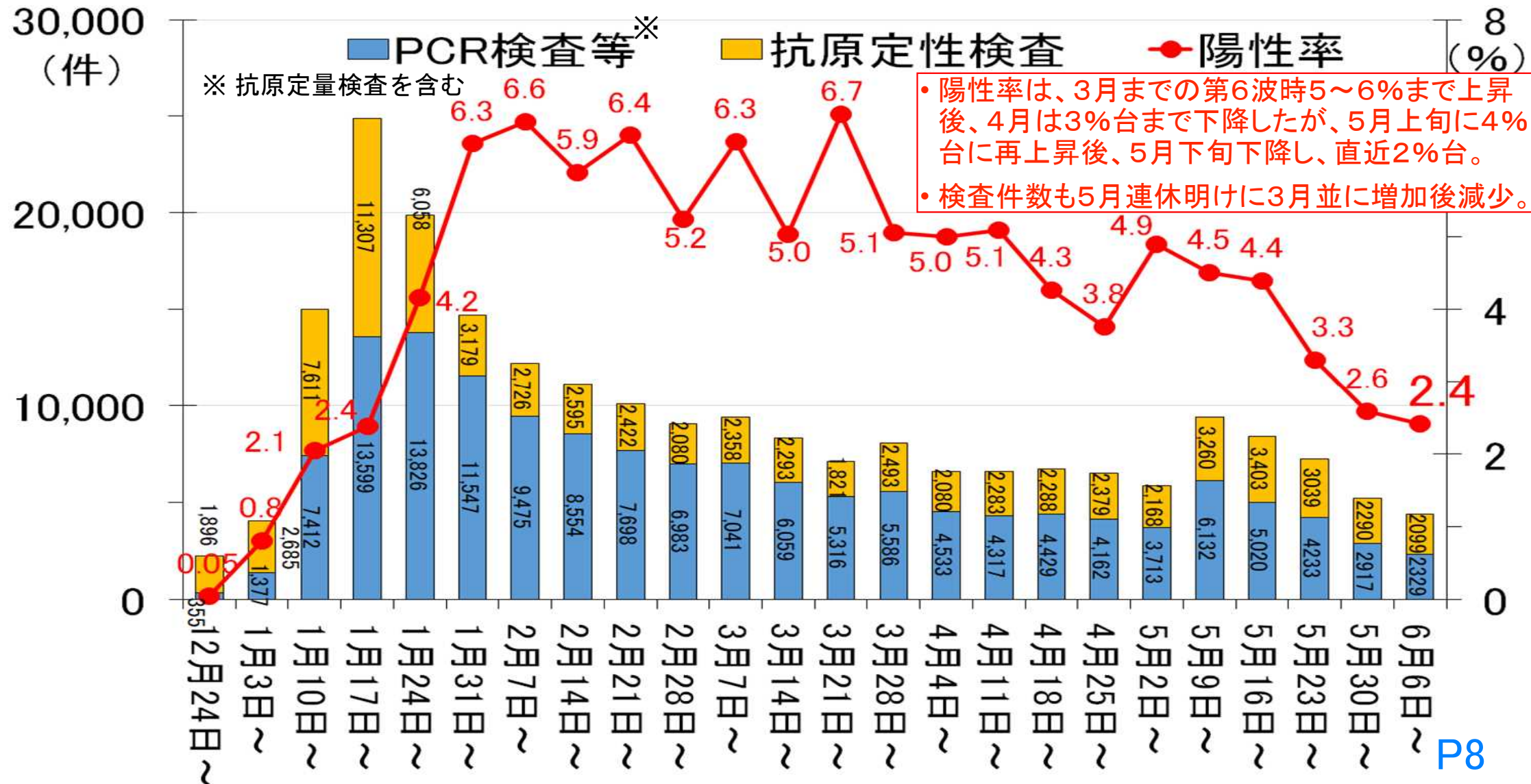
# 静岡県 コロナ受入病院 入院患者重症度別推移(1/1~6/17)



# 静岡県 発熱等受診相談センターの有症状者相談件数と感染者数(7/1~6/15)

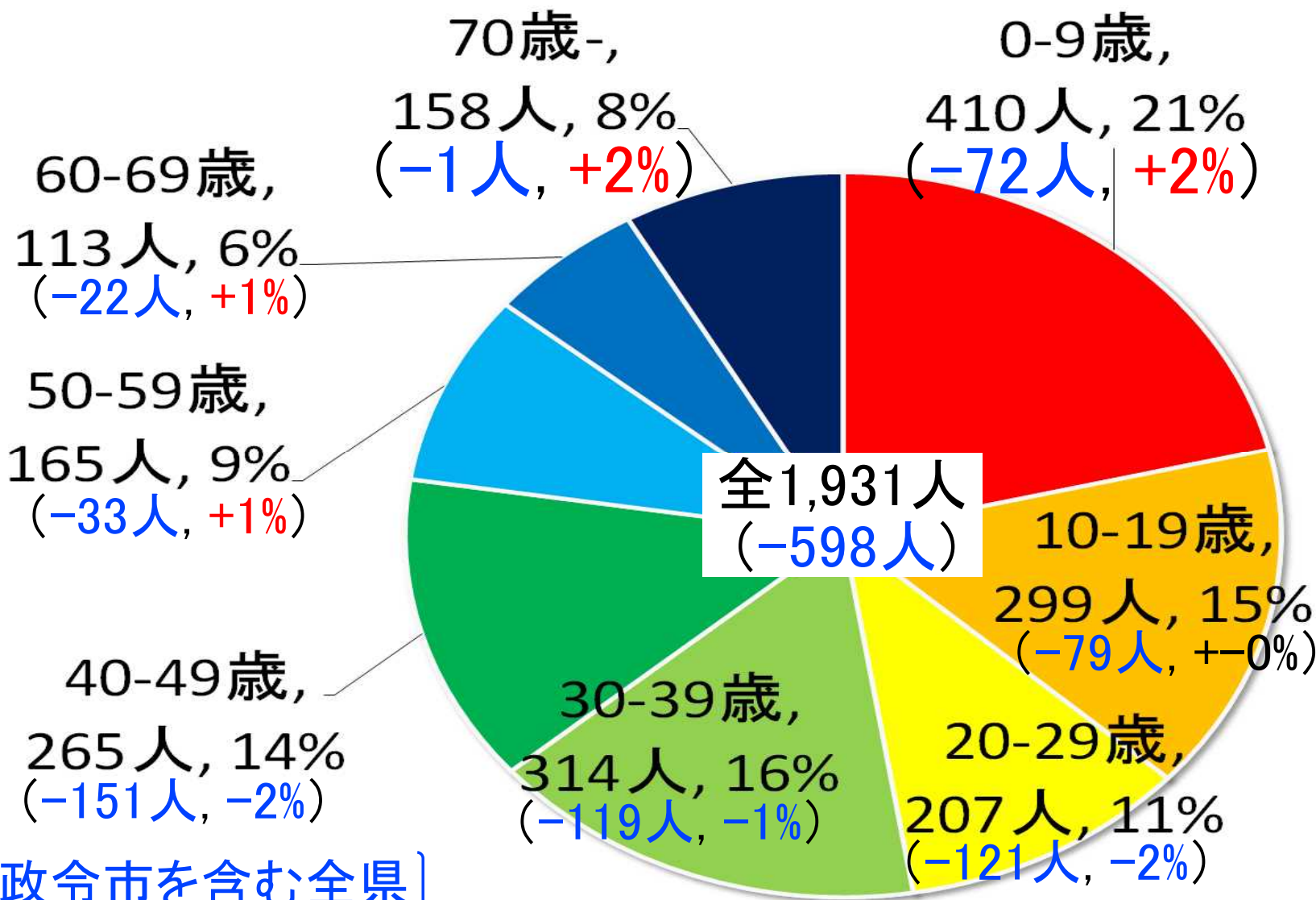


# 静岡県 無料検査の検査件数と陽性率(12/24～6/12)





# 静岡県の直近の年齢別感染者数・割合(6/10~16)



10歳未満が前週より2ポイント増加し21%で最多だが、前週より72人減少。

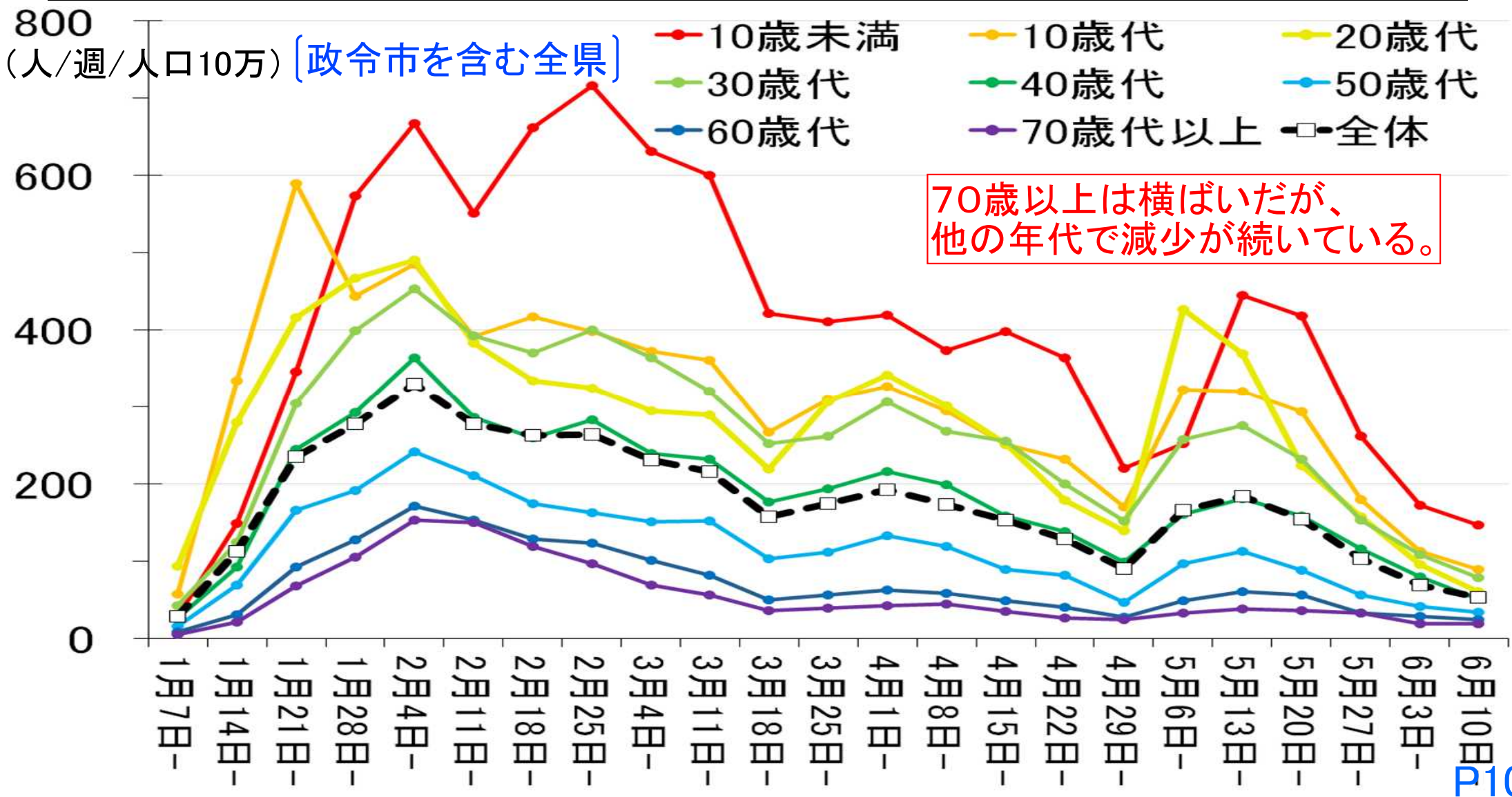
70歳以上は、前週より2ポイント増加し、人数はほぼ同じ。

20歳代以下で全体の約50%、40歳代以下で約80%を占める状況は変わらない。60歳以上は14%。

(+-〇〇人, +-□%)  
は前週との増減

[政令市を含む全県]

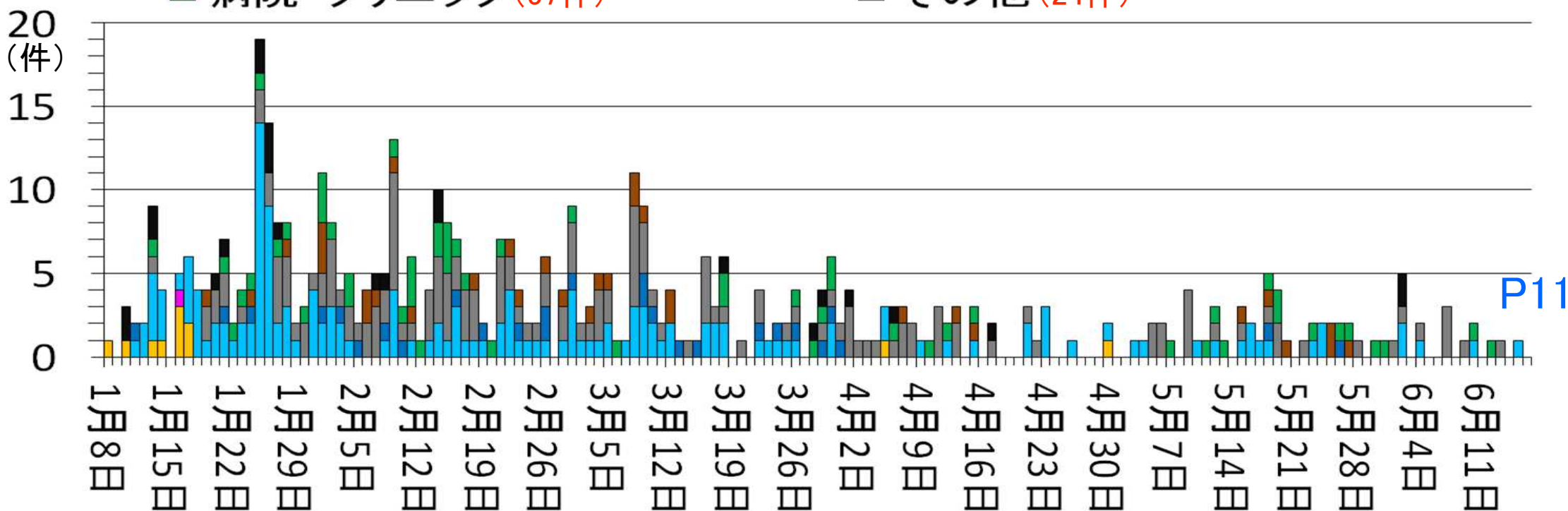
# 静岡県 年代別人口10万人あたり週感染者数(1/7~6/16)



# 静岡県 感染者集団(クラスター)の種類と件数(1/8~6/16)

全472件中、学校・保育施設が160件(34%)で最多  
次いで、僅差で高齢者施設159件(34%)、病院・クリニックは57件(12%)

- 住宅等での知人との会食 (11件)
- 学校・保育施設 (159件)
- 高齢者施設 (159件)
- 病院・クリニック (57件)
- 接待を伴う飲食店 (1件)
- 事業所・工場 (27件)
- 高齢者以外の福祉施設 (33件)
- その他 (24件)

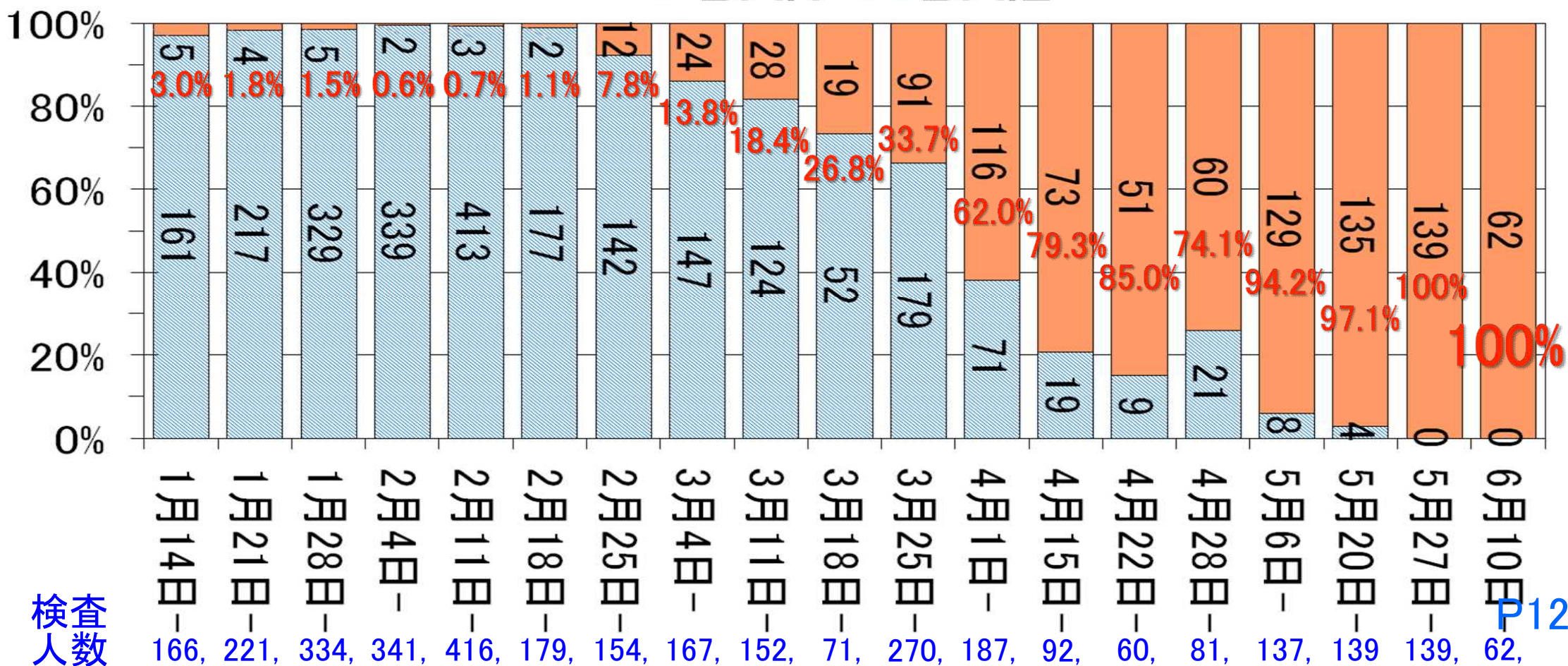


# オミクロン株BA.1とBA.2の割合の推移 (1/14~6/16)

オミクロン株全体の中でBA.2が占める割合は、3~1%程度で推移していたが、2月下旬より増加し始めて、直近で100%。

〔政令市を含む全県〕

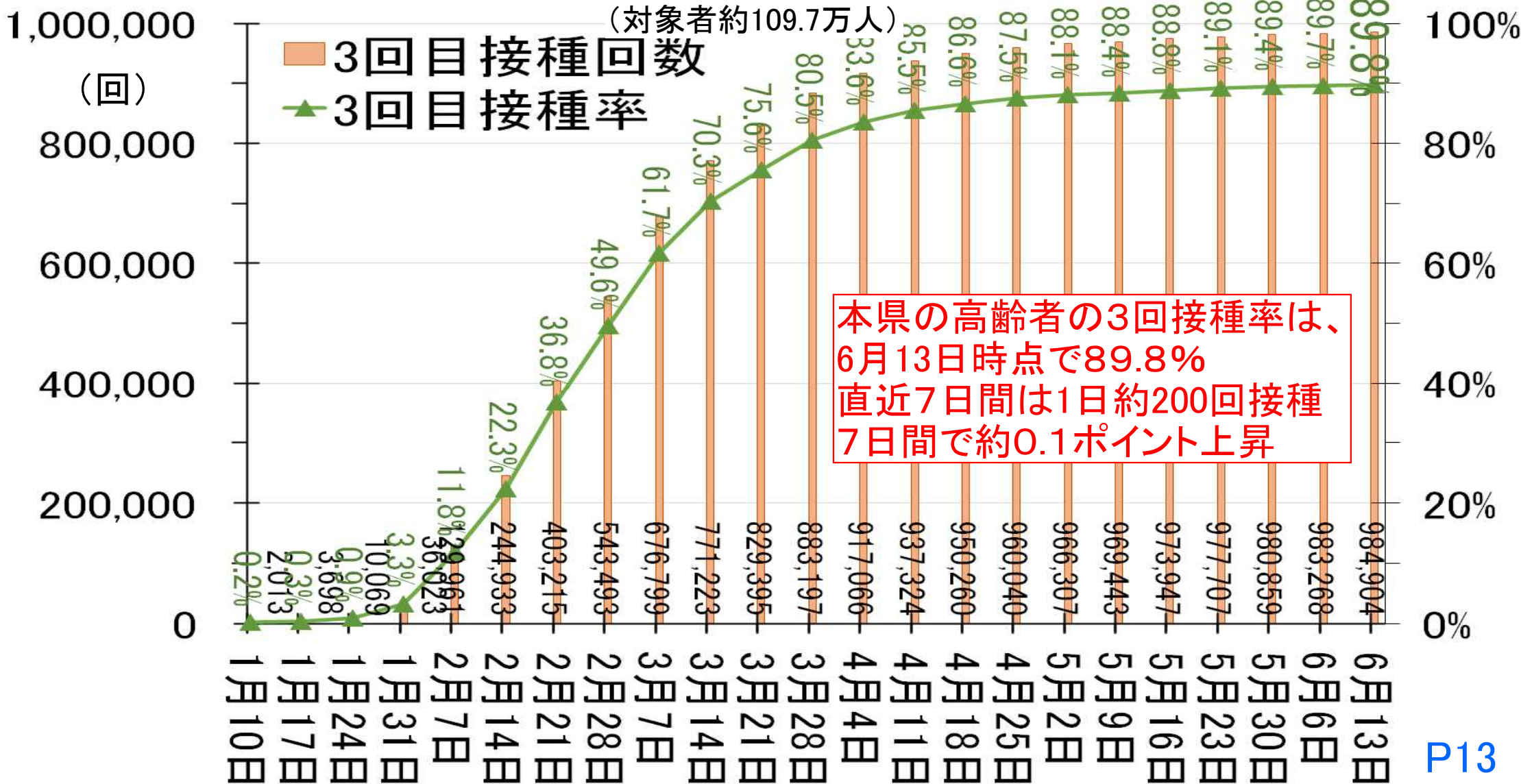
■ BA.1 ■ BA.2



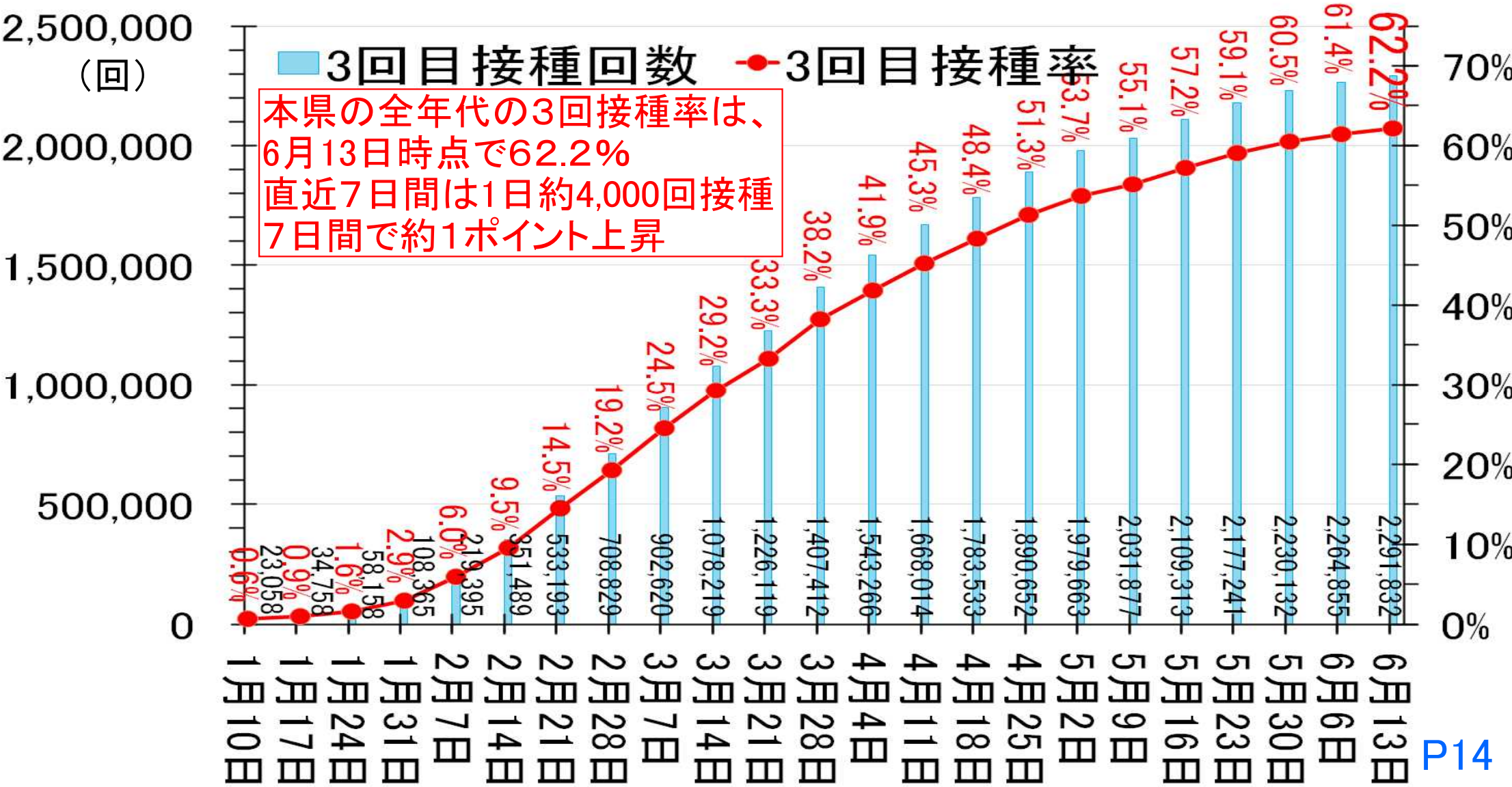
検査人数

12

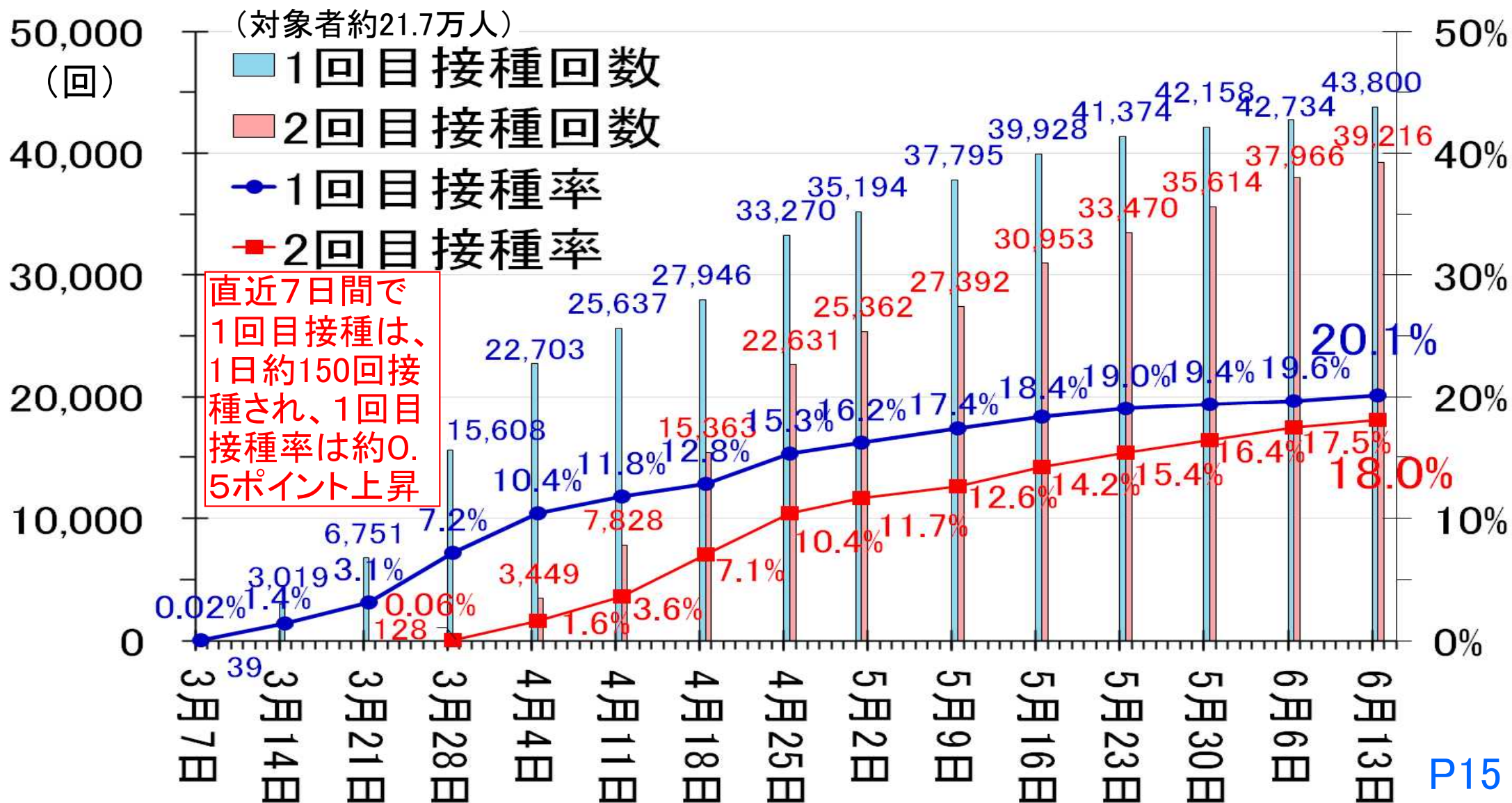
# 静岡県 コロナワクチン3回目接種状況 高齢者(1/10～6/13)



# 静岡県 コロナワクチン3回目接種状況 全年代(1/10~6/13)

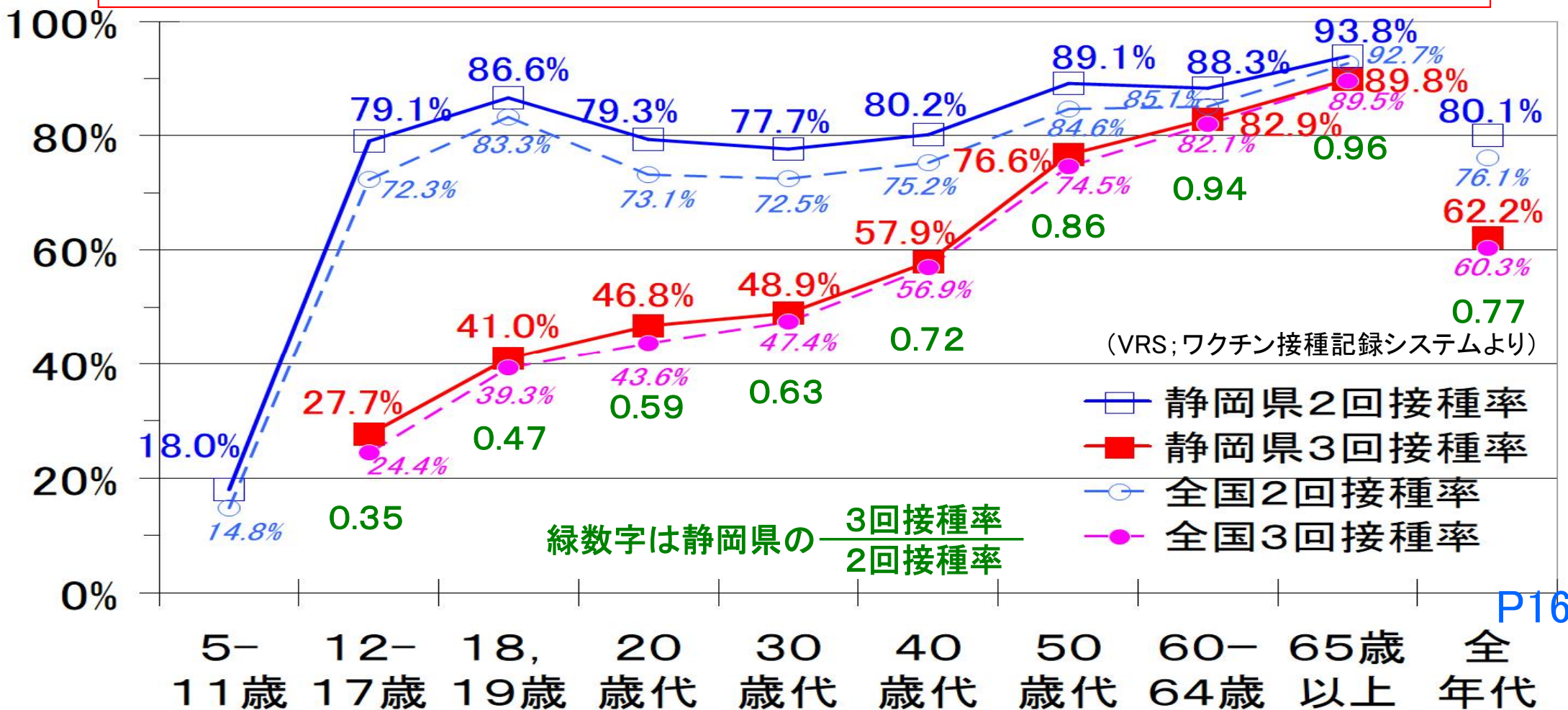


# 静岡県 コロナワクチン5～11歳接種状況 (3/7～6/13)



# 県と国 コロナワクチン年代別接種率（6/13時点）

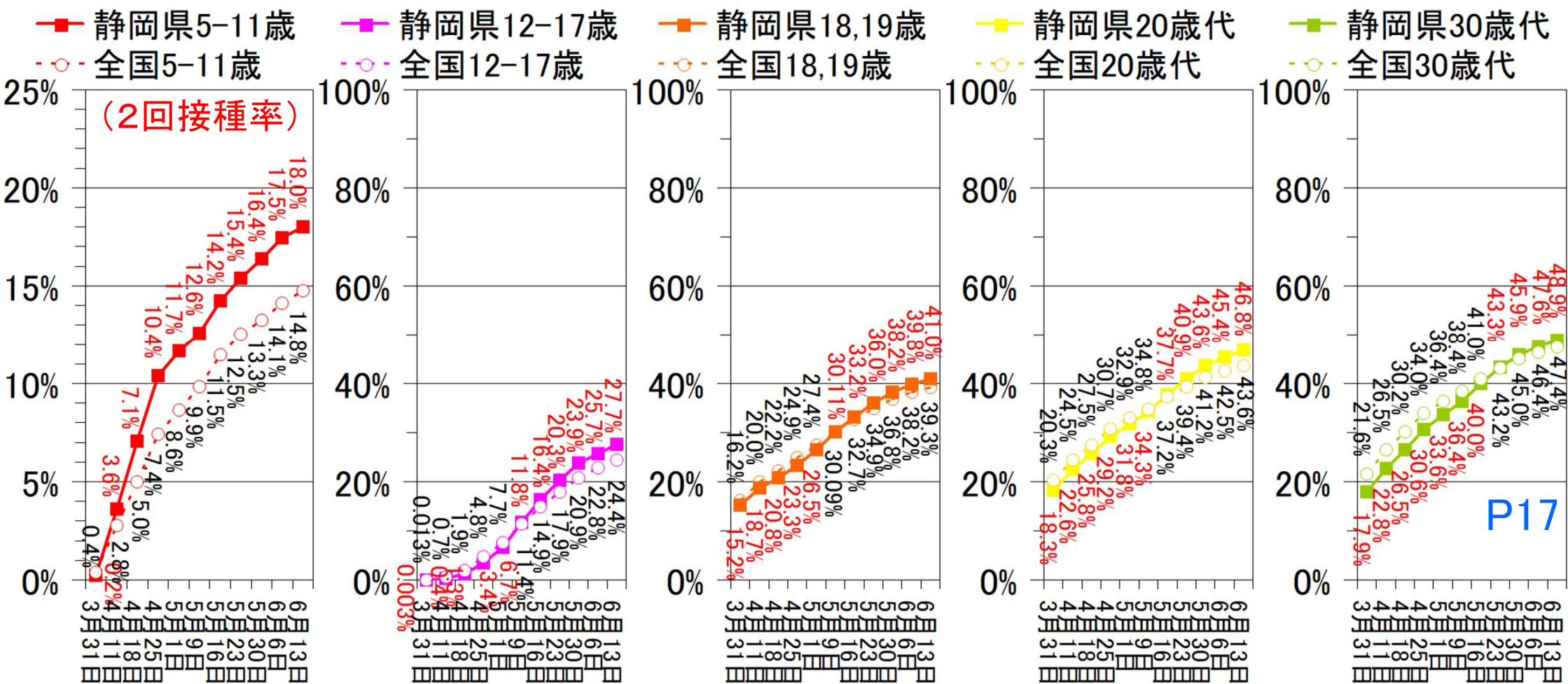
- ・県の3回接種率は、50歳以上は75%以上、40歳代50%台、18歳～30歳代は40%台となる。12～17歳は20%台と最も低いですが、全国よりも3ポイント以上高い。
- ・県の3回接種率を全国と比べると、各年代すべてで全国より0.3～3.3ポイント高い。





# 県と国 コロナワクチン年代別3回接種率 (3/31-6/13)

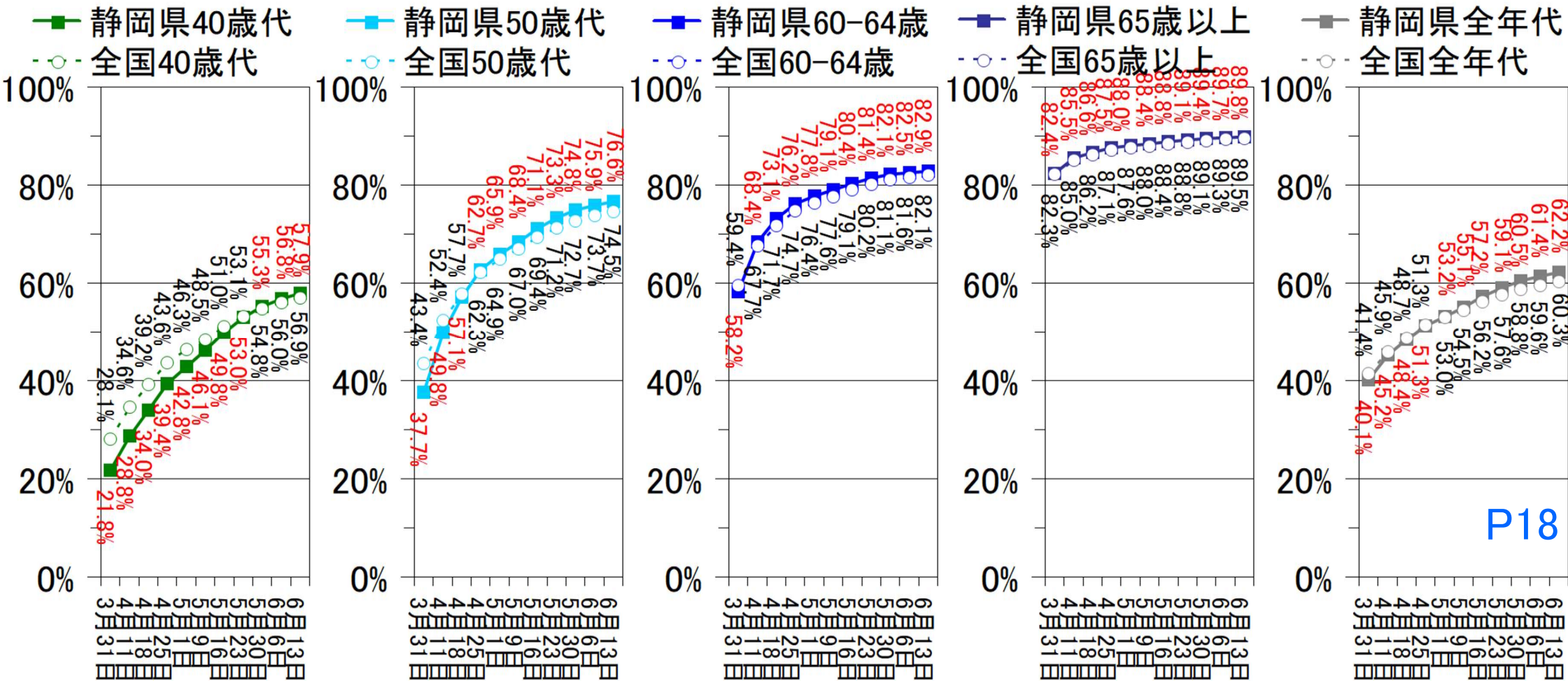
- ・県の5～11歳の2回接種率は、全国平均より約3ポイント高い。
- ・県の12歳～30歳代までの3回接種率は、全国より1.5～3.3ポイント高い。
- ・県の5歳～30歳代の接種率は、直近1週間で0.5～2.0ポイント増加している。



P17

# 県と国 コロナワクチン年代別3回接種率 (3/31-6/13)

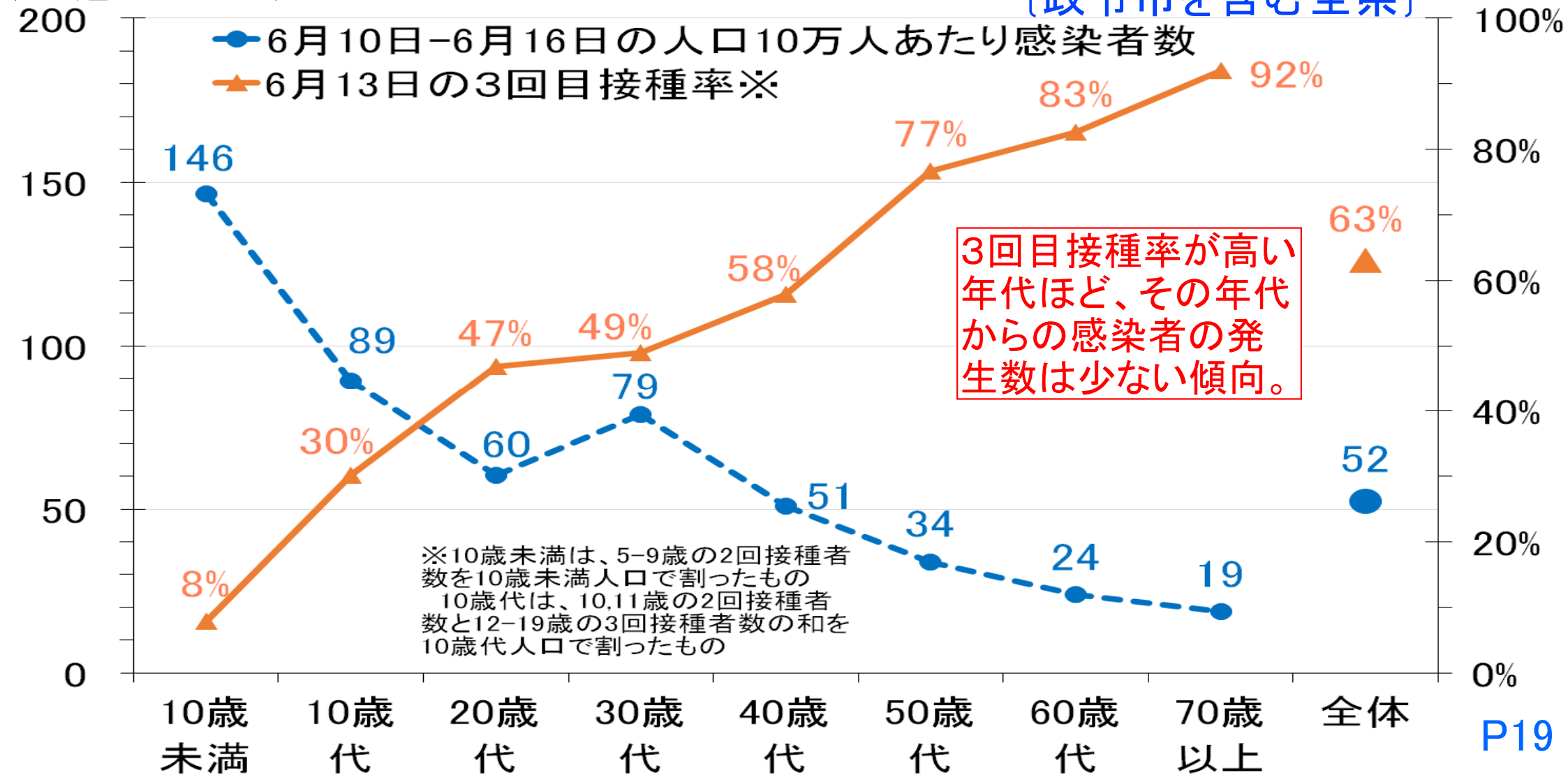
- ・県の40歳以上の3回接種率は全国より0.3～2.1ポイント高く、全年代では1.9ポイント高い。
- ・県の40歳代の接種率は直近1週間で1.1ポイント増加しているが、50歳以上は0.1～0.7ポイントの増加にとどまり、全年代の増加も0.8ポイントと鈍化している。



# 静岡県 年代別 3回目接種率と人口10万人あたり1週間感染者数 (6/10~16)

(人/週/人口10万)

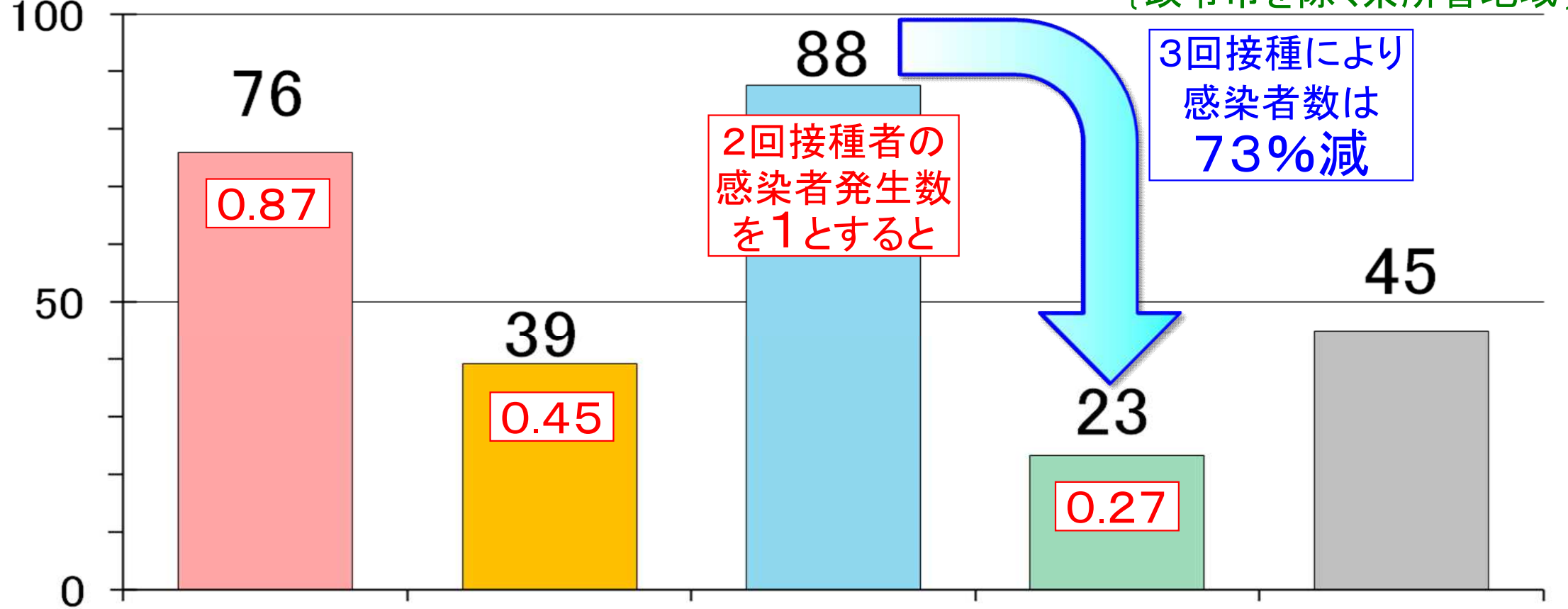
〔政令市を含む全県〕



# ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (6/10~16)

(人/週/人口10万)

[政令市を除く県所管地域]

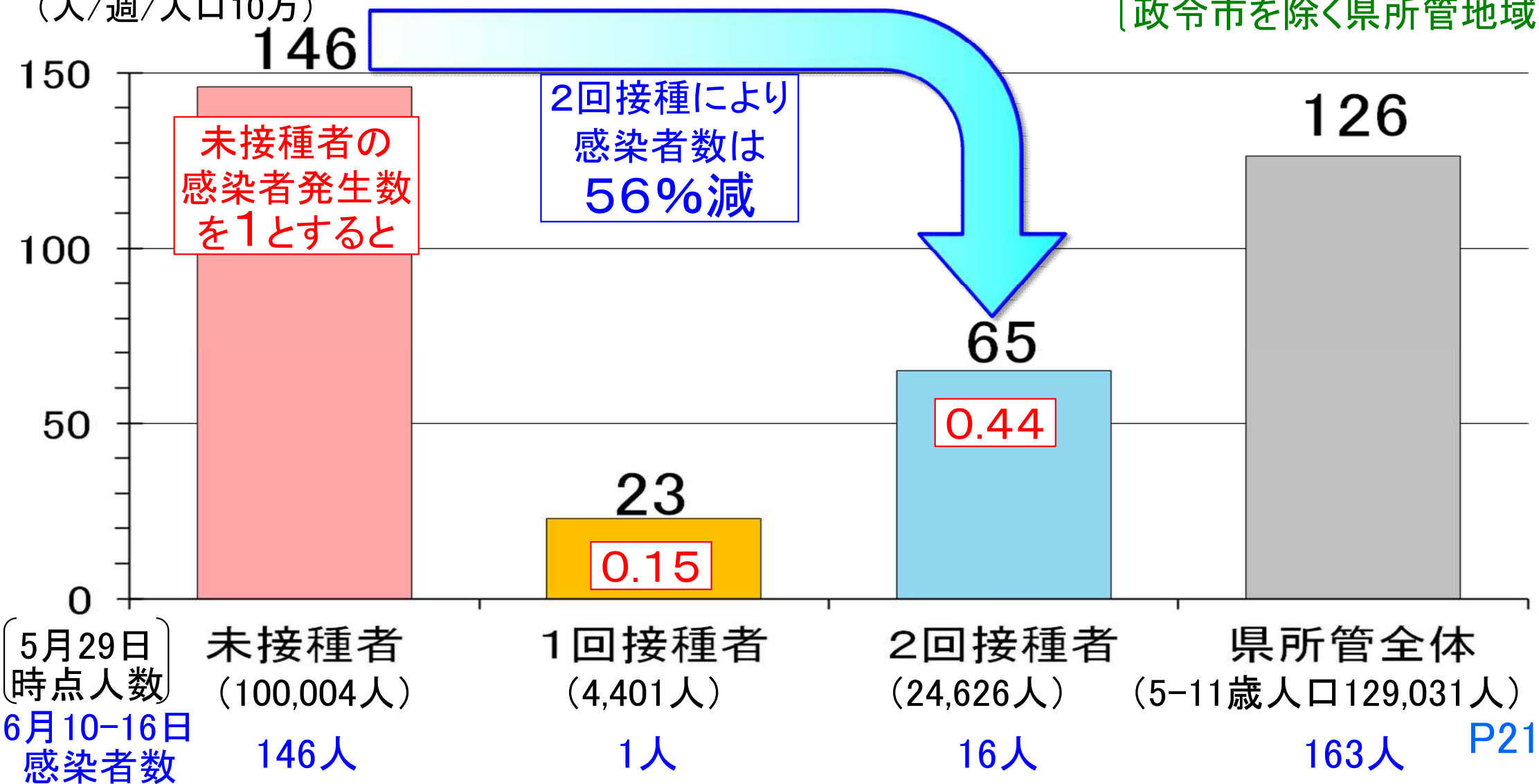


接種回数	6月12日時点人口 (人)	6月10-16日感染者数 (人)
未接種者	438,327人	333人
1回接種者	12,742人	5人
2回接種者	372,958人	327人
3回接種者	1,367,971人	318人
県所管全体	人口2,191,998人	983人

# 小児ワクチン接種回数別 人口10万人あたり1週間感染者発生状況 (6/3~16)

(人/週/人口10万)

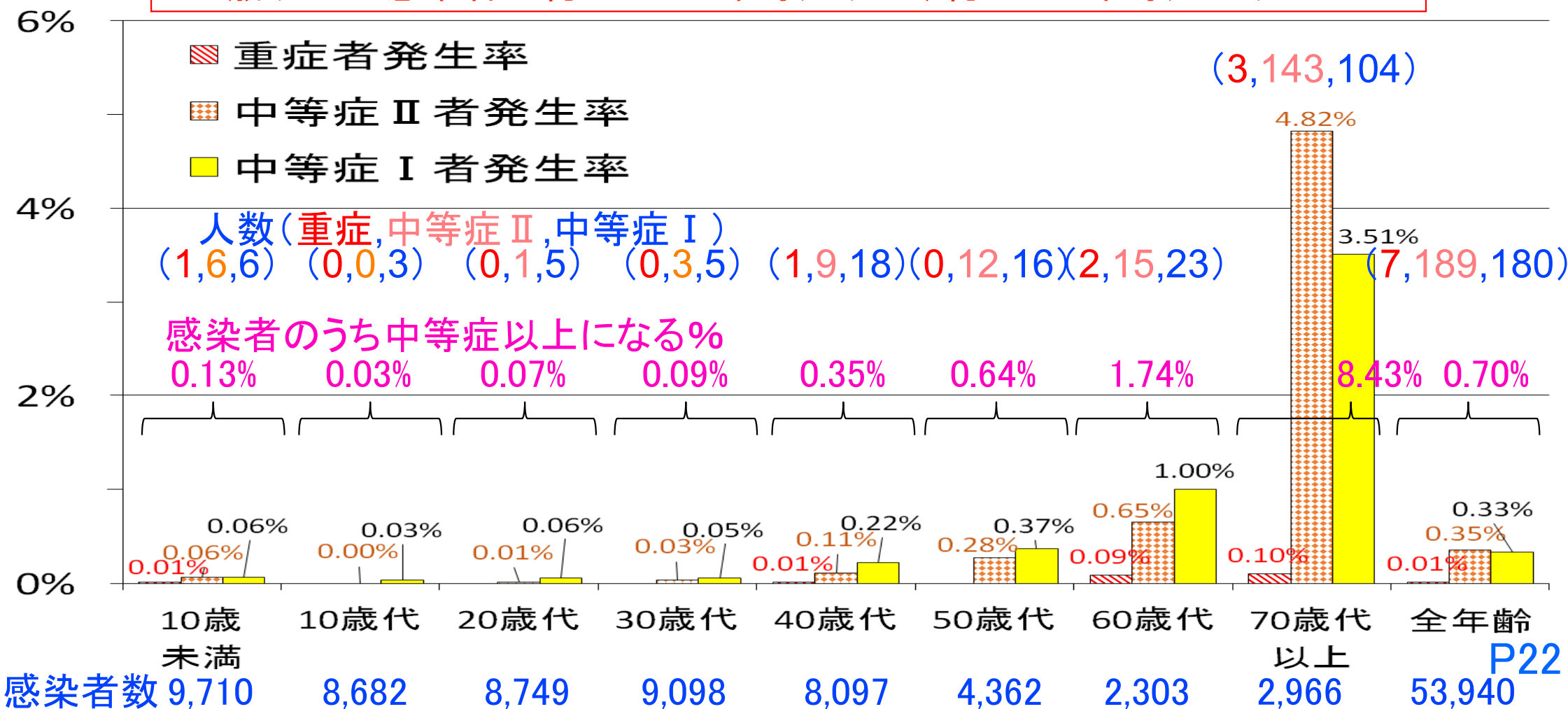
[政令市を除く県所管地域]



5月29日  
時点人数  
6月10-16日  
感染者数

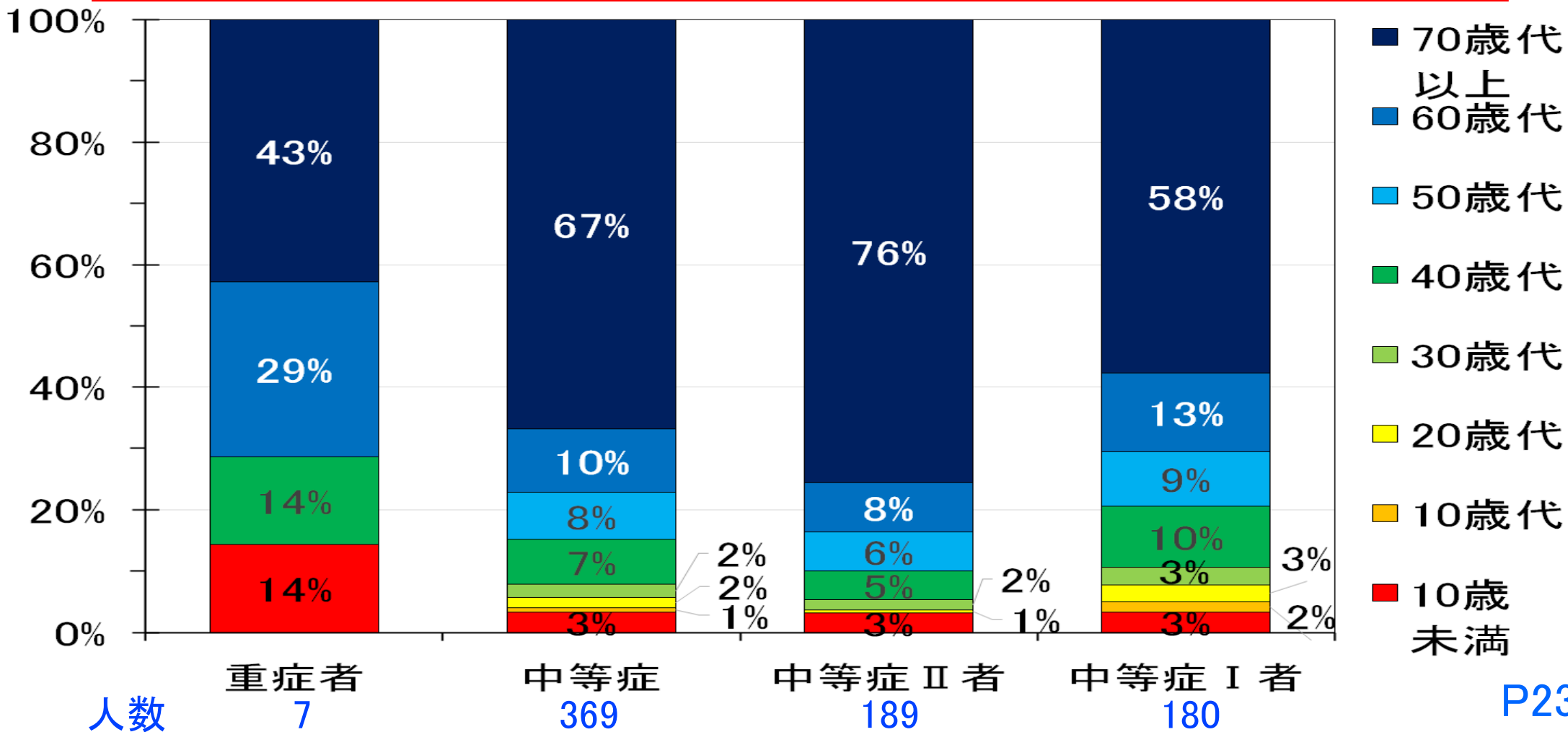
# 静岡県 年代別感染者の中等症以上発生率等(4/1~6/16)

- 全体での中等症以上の発生率は0.7%、中等症Ⅱ約0.4%、重症0.01%
- 70歳以上の感染者の約8.5%は中等症以上、約5%は中等症Ⅱ以上

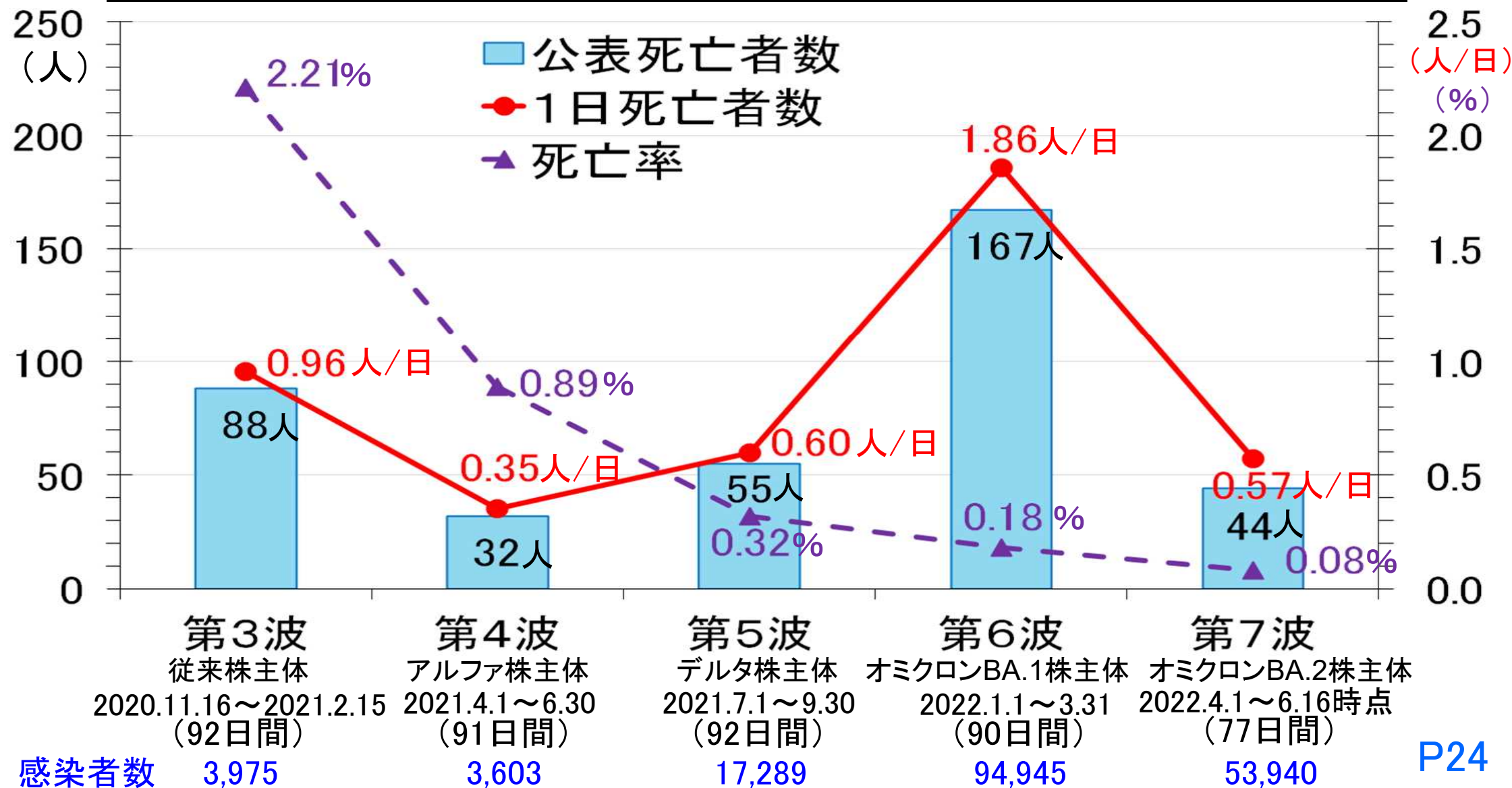


# 静岡県 重症度別感染者の年代分布(4/1~6/16)

- 重症者は7人のみで、70歳代以上3人と60歳代2人、40歳代・10歳未満各1人
- 中等症者の約70%は70歳以上、中等症Ⅱの約80%は70歳以上



# 静岡県 新型コロナ第3波～第7波の死亡者数(～6/16)





# 静岡市両替町の人流の状況（6/16時点）



※グラフは、7月1日時点の人流の後方7日間移動平均（6月25日～7月1日の平均値）に対する、各日の後方7日間移動平均の増減率

（主要地点：静岡駅周辺、歓楽街：静岡両替町）

モバイル空間統計® データ提供元：(株)NTTドコモ、(株)ドコモ・インサイトマーケティング ※「モバイル空間統計®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。

## 全国季節性インフルエンザと静岡県新型コロナ・オミクロン株の比較(6/16時点)

指標(率)	季節性インフルエンザ※1	新型コロナ・オミクロン株※2
死亡	0.09% (27,679人/31,665,539人)	0.08% (44人/53,940人)
重症 (ICU/人工呼吸器)	0.08% (24,805人/31,665,539人)	0.01% (7人/53,940人)
中等症 (酸素投与以上)	0.51% (162,471人/31,665,539人)	0.35% (189人※3/53,940人)
入院	1.62% (51,2165人/31,665,539人)	1.92% (1,037人/53,940人)

※1;「2022年3月2日第74回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード 資料3-10」より 観察期間は、2017年9月～2020年8月

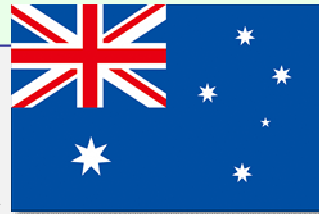
※2;静岡県健康福祉部感染症対策局調べ 観察期間は、2022年4月1日～6月16日

※3;新型コロナウイルス感染症においては中等症にはⅠとⅡがあるが、この人数は酸素投与を要する中等症Ⅱの入院患者数

# 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/5時点)

《”Australian Influenza Surveillance Report No.05, 2022”のKey Messages》

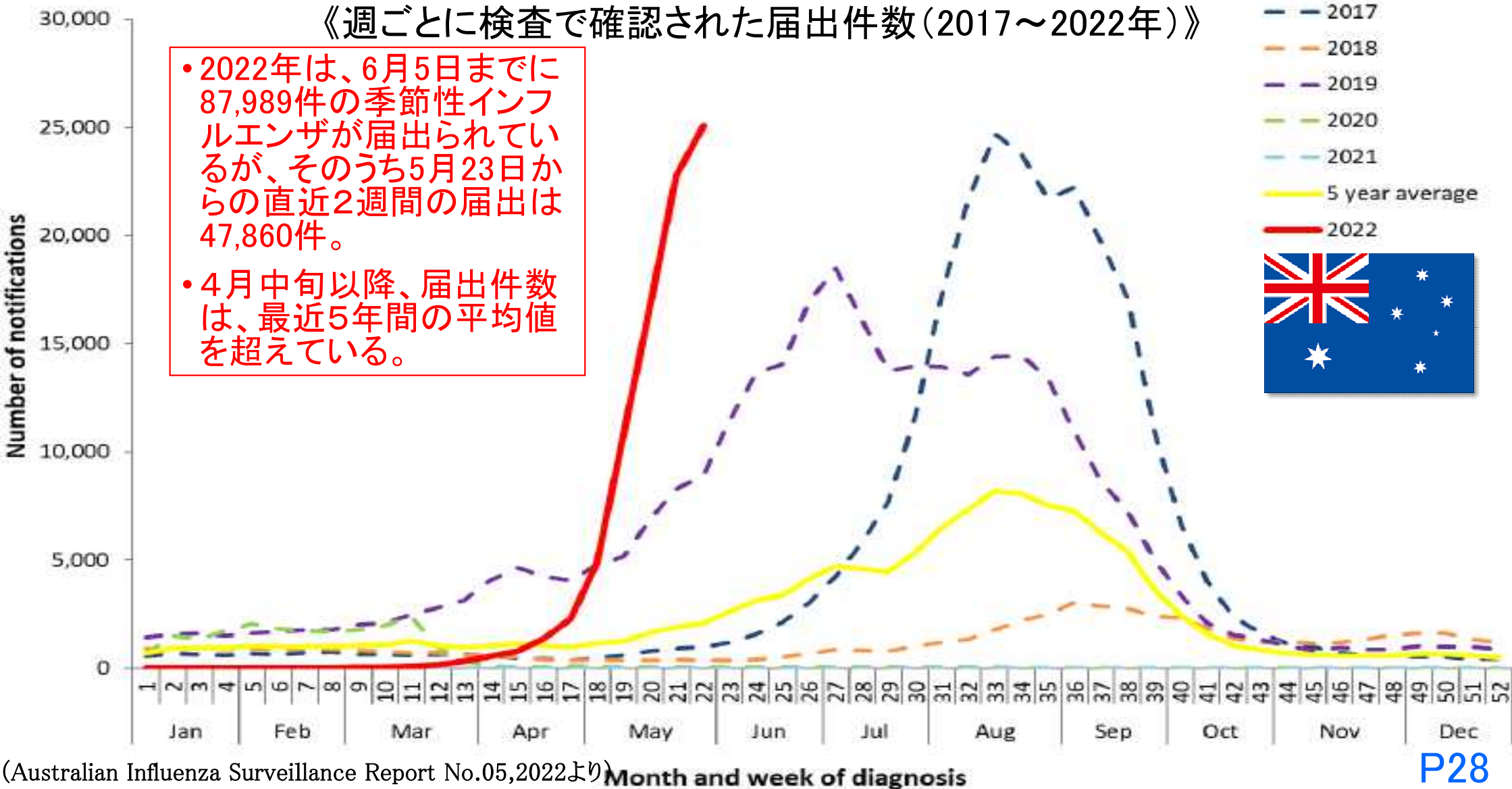
活動性	<ul style="list-style-type: none"><li>• 今年のコミュニティでの<u>インフルエンザ様疾患(ILI)の活動は、2022年3月以降増加</u>している。</li><li>• 2022年までの1年間に、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム(NNDSS)に<u>87,989件が届出されており、そのうち47,860件の届出は5月23日から6月5日の2週間に診断</u>された。</li><li>• 2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認された<u>インフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている</u>。</li></ul>
重症度	<ul style="list-style-type: none"><li>• 今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ87,989件の届出のうち、27件のインフルエンザ関連の死亡が届出された。</li><li>• 2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザによる入院は監視病院全体で733件報告されており、そのうち6.1%がICUに直接入院した。</li></ul>
影響	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現時点では、2022年<u>インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない</u>。</li></ul>
リスク集団	<ul style="list-style-type: none"><li>• 2022年の現在までは、<u>5~19歳と5歳未満が最も高い届出率</u>を示している。</li></ul>
ウイルス学	<ul style="list-style-type: none"><li>• 現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の<u>90.0%がインフルエンザA</u>であり、そのうち94.5%がインフルエンザA(サブタイプなし)、0.9%がインフルエンザA(H1N1)、4.6%がインフルエンザA(H3N2)。<u>インフルエンザBは届出の0.1%を占め、0.1%未満はAとBの重複感染またはインフルエンザCであり、10.0%は型が分類されていない</u>。</li></ul>
ワクチンとの一致と有効性	<ul style="list-style-type: none"><li>• これまでにWHO協力センターに照会された851の検体のうち、<u>すべてのインフルエンザA(H1N1)およびインフルエンザA(H3N2)の96.0%は、対応するワクチン成分と抗原的に類似</u>の特徴があった。一方、インフルエンザB/ビクトリアは抗原的に異なる特徴があった。</li><li>• 今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。</li></ul>



# 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/5時点)

《週ごとに検査で確認された届出件数(2017~2022年)》

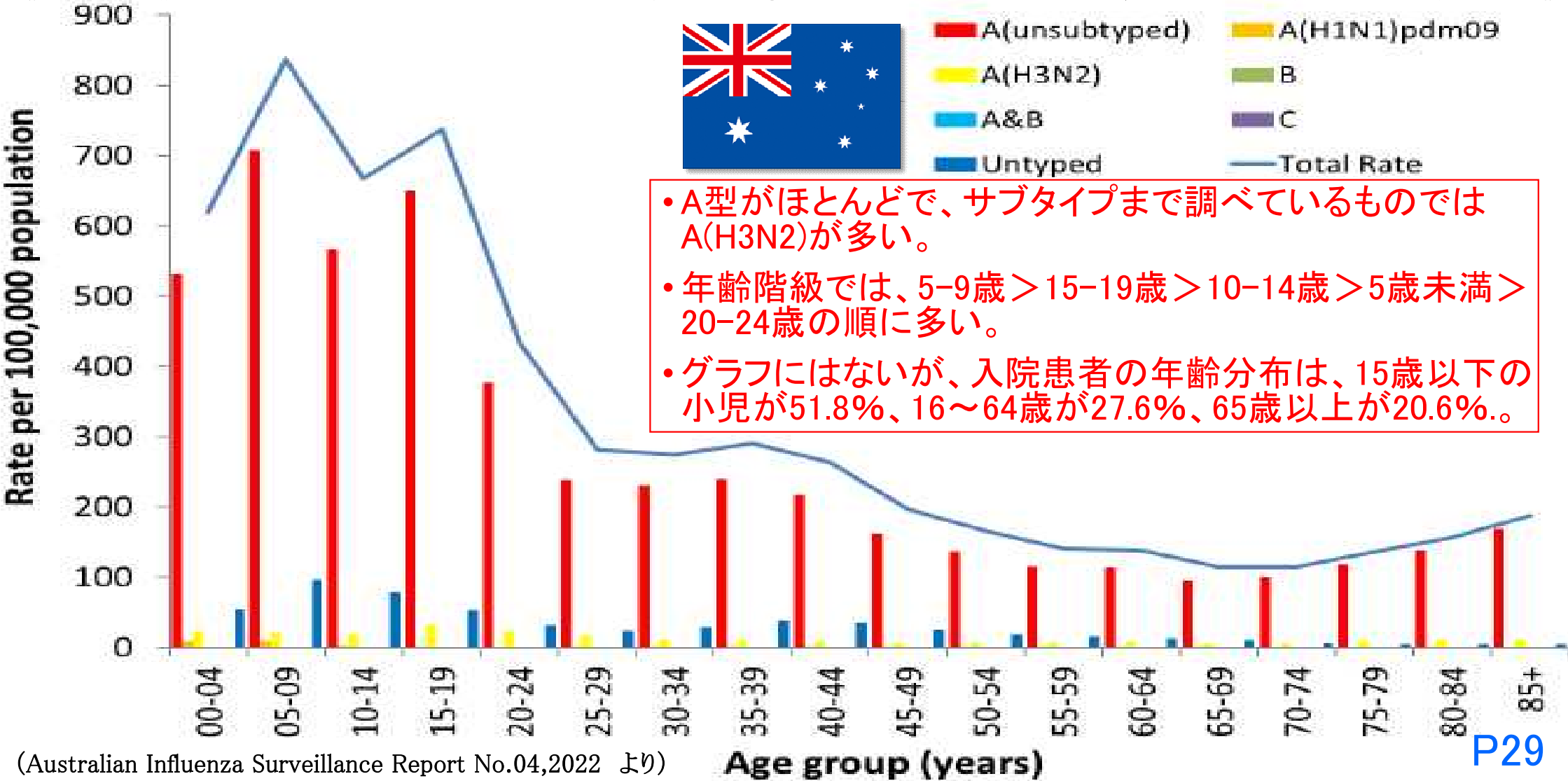
- 2022年は、6月5日までに87,989件の季節性インフルエンザが届出られているが、そのうち5月23日からの直近2週間の届出は47,860件。
- 4月中旬以降、届出件数は、最近5年間の平均値を超えている。



(Australian Influenza Surveillance Report No.05,2022より)

# 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/5時点)

《年齢階級別・サブタイプ別 人口10万人あたりの検査で確認された届出数(2022年1月1日～6月5日)》

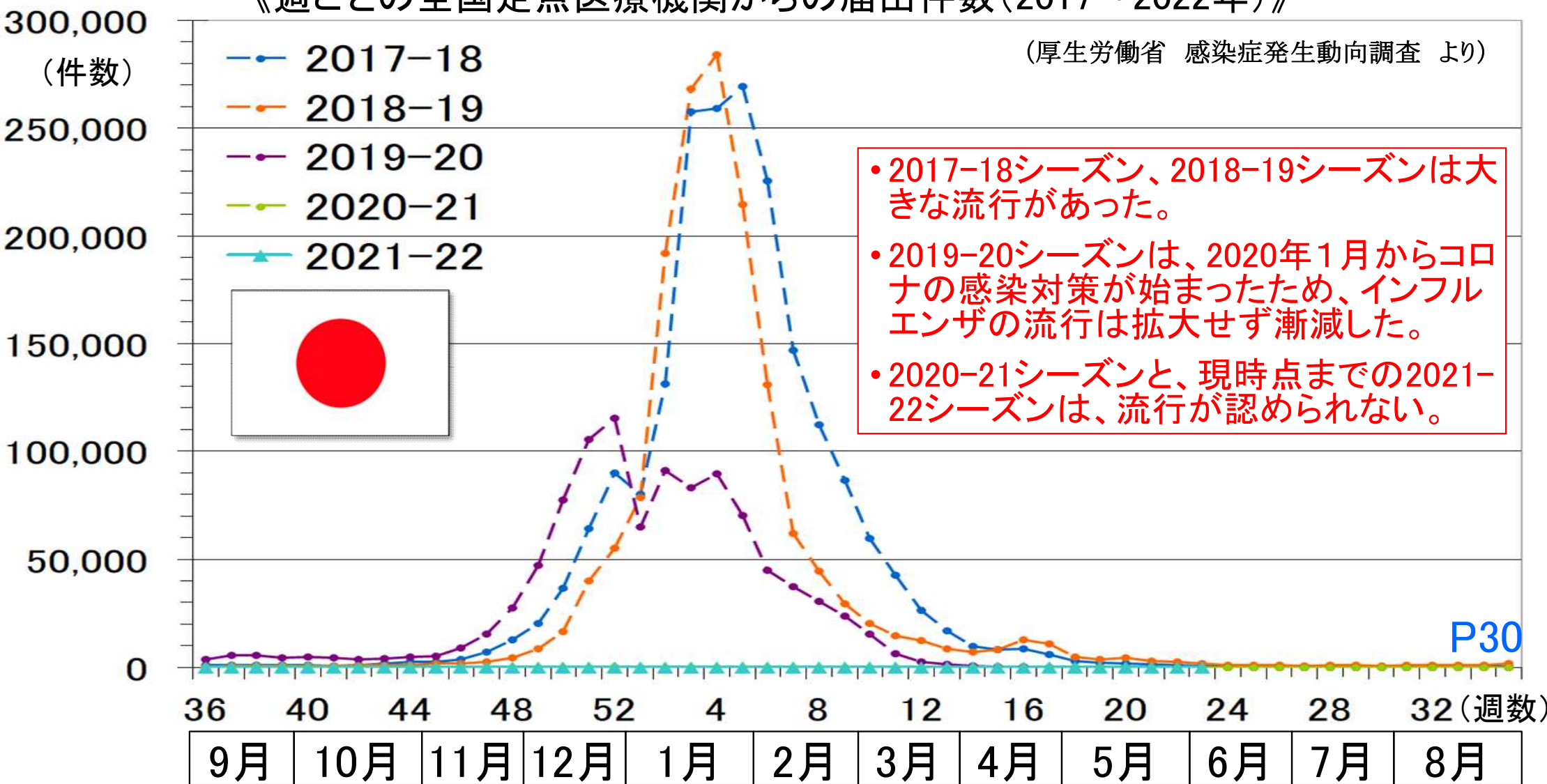


(Australian Influenza Surveillance Report No.04,2022 より)

# 日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/12時点)

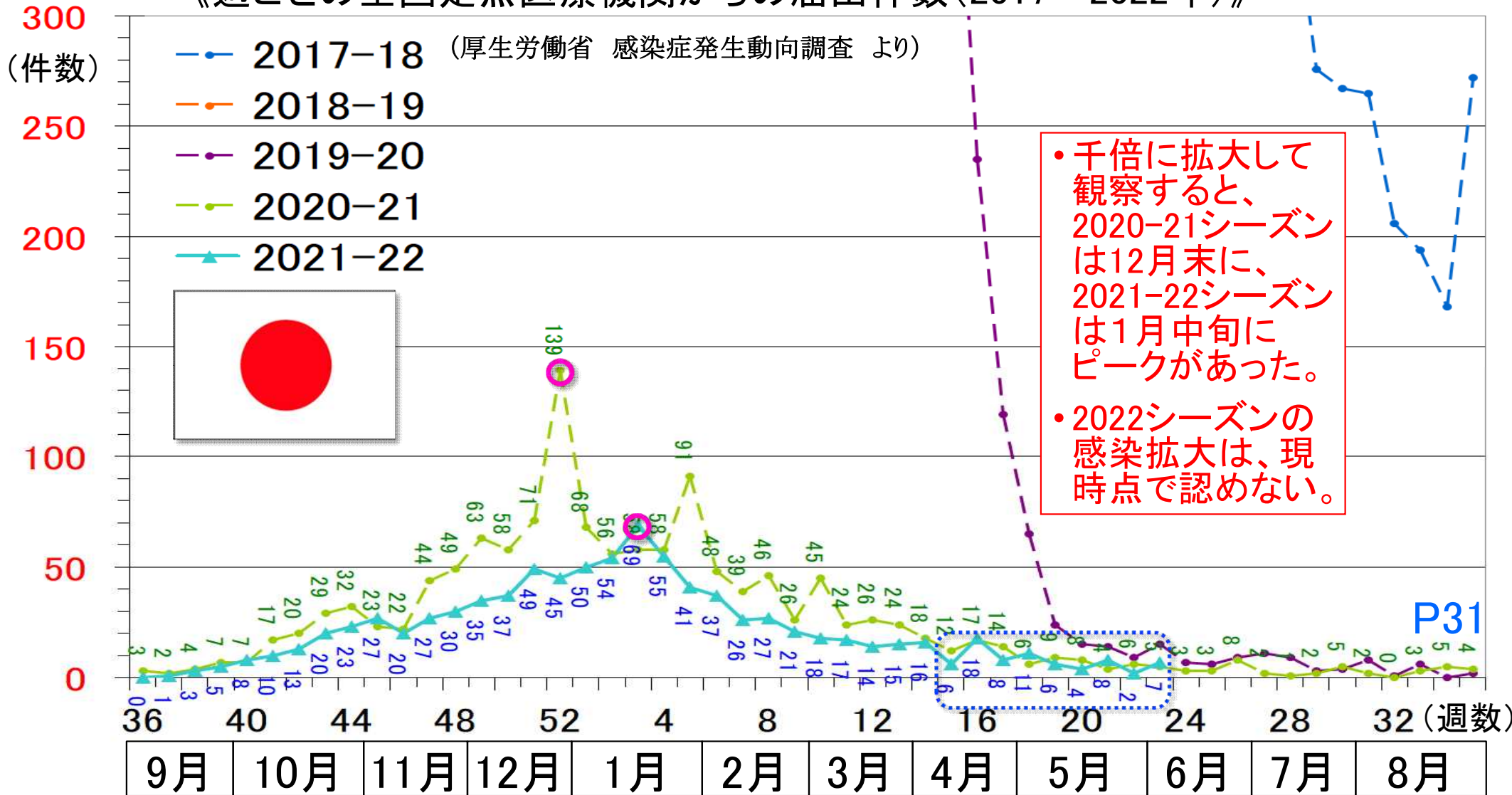
《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》

(厚生労働省 感染症発生動向調査 より)



# 日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/12時点)【1,000倍拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



# 今後の感染者数増減の要因は



増加 ↑ 要因

減少 ↓ 要因

BA.2への置き換わり

済

3回目接種者数の増加

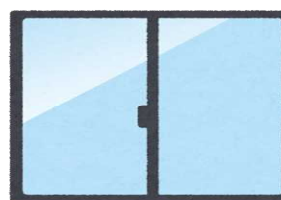
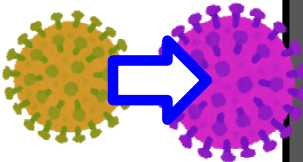
マスク無しで会話する  
時間 × 相手人数

増

減

どんより 換気

良好





# 感染再拡大をおさえるためのお願い

静岡の医療と社会を守るために

- ① 会話時や人混みでは不織布マスクを鼻まで密着
- ② 長い会話時は2m前後の距離と換気をしっかり確保
- ③ 家庭でも高齢や基礎疾患の方と会話はなるべくマスク



# 感染再拡大をおさえるためのお願い

④ 飲食の会合では、**認証店**で、**会話時マスク**を！

⑤ 鼻水, 咳, のど変, 熱等が出たら**すぐに休んで受診を!!**

⑥ **3回目, 4回目ワクチン接種を検討し、接種後も会話時マスクは続行を!!!!**

